



### 弱視児童・生徒の英語指導



英語が小学校で教科になったり、新学習指導要領の実施により中学校・高校で学習する英単語数が大幅に増えたり、大学入学共通テストの内容がより実践的なものになったりと英語学習を取り巻く環境が大きく変わってきています。これからの時代を生きる人にとって、英語は生活していく上で役に立つ知識や技能となり、英語学習で培った表現力は様々な場面で役立つことでしょう。弱視児童・生徒にも確かな英語力をつけたいものです。

#### 1 英語学習における視覚障がいを補って学ぶための教材とその活用と指導の工夫

##### (1) 拡大文字の教材

英語の文字であるアルファベットは日本語と形が全く違う文字ですから、まず文字の形を知ることが大事です。文字を拡大する場合は、アルファベットの違いがわかるように、一人一人に合わせたフォントや大きさにするとよいでしょう。フォントが違ういくつかのアルファベットを提示して見比べて選んでもらうとよいでしょう。

##### (2) 拡大教科書

英語はいくつかのアルファベットが綴られて1つの英単語になっていますので、スペルが見やすいポイント数の拡大教科書がよいでしょう。英文を読む場合は日本語と違い、英単語を読むことから始まります。音読指導では、1語ずつ読むことから始め、次に2～3語のまとまりごとに読み上げるスラッシュ読みから、英文全部を読み上げるよう段階を踏んで、文字と音声一致するように指導することが大事です。拡大教科書では、行をまたいだ英文の読み方の練習を工夫するとよいでしょう。

##### (3) 点字教材

現在世界で使用されている英語の点字は統一英語点字（UEB）と言います。UEBではアルファベット1文字に1英語点字が対応する grade1 と、いくつかの文字を合わせて短くする grade2 の2つの表記があります。いくつかの文字を短く表記することを縮約と言います。中学1年では、grade1 を使いますが、中学2年からは、少しずつ縮約を覚えます。縮約を使うことで、英語を読んだり書いたりするのを早くすることができます。例えば people の表記では、grade1 では6つの点字を使いますが、grade2 の表記では1つの点字で表記することができます。

##### (4) 音声教材

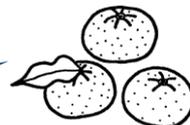
英語学習では音声面の指導が効果的です。特に視覚障がいをもつ児童生徒にとって、音楽やリズムに合わせて英単語や英文を発音するチャンツを使い定着をはかることは、単語や基本表現を覚えるのに有効です。

英語の歌や有名人のスピーチ、英語の映画やドラマなども良い教材になります。本物の英語の音声は知的好奇心を刺激し、興味・関心を引き出すのに効果的です。

## (5) 触察教材

英語と実物が結びつくように、触ってわかる活動を積極的に取り入れるとよいでしょう。

three oranges



## (6) ICT機器の利用

### ① 辞書

新学指導要領では中学校で辞書（英和・和英辞書）の使い方を指導し、高校ではより応用的・発展的に使用できることが求められています。視覚障がいをもつ児童・生徒にとって、一般の紙の英語の辞書は文字が小さく利用しにくかったり、点字の辞書は冊数が多いため持ち運びしにくかったりします。辞書指導の導入は丁寧に行い、辞書の使い方を学んだ上で電子辞書やスマートデバイスの辞書アプリなど自分が使うことができるものを持つとよいでしょう。英単語の意味や、ある日本語を英語で何とよいかを自分で調べる手段があれば、より主体的に学習することができます。

### ② PC-Talker

画面情報を読み上げてくれるソフトです。操作方法や文書を読み上げてくれるので拡大教科書や点字が使えない場合でもとても役立ちます。読み上げる速度を変えられることもできるので、耳が慣れるまでは遅い速度で、慣れたら早い速度にと使い分けができます。英語の読み上げでは発音やイントネーションの確認もできるので、予習や復習にも使うことができます。

### ③ Siri

iPad や iPhone に搭載された話かけると答えてくれる機能です。「Hey Siri、魚は英語で何と言うの?」と問いかけると答えてくれます。小学校の外国語活動や外国語ではここからスタートすることもお勧めです。

## 2 効果的な言語活動

視覚障がい児童・生徒にとっては言語活動の場面を理解する場合に、視覚に頼らなくても理解することができるような工夫が求められます。買い物やレストラン等の場面では、店やレストランに見立てた実物を使用することは効果的です。一人一人の実体験や知識をもとに、言葉での丁寧な説明、実物や音声等の活用は場面を理解する手助けになるでしょう。また、教師やALTによるモデルの提示も効果的です。

児童生徒一人一人の実態に合わせ、興味・関心を引きだしながら、英語でコミュニケーションする楽しみを実感できるような言語活動は意欲を高め、生きた英語力を身に付けることにつながることでしょう。

### ◆参考図書

- 1) 文部科学省 資料5-1 視覚障害に関する学校における配慮事項について
- 2) 文部科学省 小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編
- 3) 文部科学省 中学校学習指導要領解説 外国語編
- 4) 文部科学省 高等学校学習指導要領解説 外国語編・英語編
- 5) エッセンシャルガイド統一英語点字UEBで何が変わるか 福井哲也著  
社会福祉法人日本ライトハウス
- 6) 電子辞書時代を見据えた英語辞書指導のあり方レポート 中部大学 関山健治著